

うるおい

第77号

発行
八尾市自治振興委員会
八尾市赤十字奉仕団

八尾市本町1-1-1
八尾市役所コミュニティ政策推進課内
電話072-924-3827(直通)

令和5年度市政懇談会を開催しました

テーマ 今後の自治振興委員会の役割、町会活動・運営のあり方について

12月20日(水)八尾市役所において、八尾市自治振興委員会幹事と八尾市から大松市長をはじめ、関係部局の職員が出席され、市政懇談会を開催いたしました。

今年度はテーマに沿って、各地区における課題やその解決策、工夫した取り組み等について情報共有を行いました。

こんな発表がありました

- ①町会が一体となる取り組みとして、無事旗(黄色)を各家の前に掲げる防災訓練を実施している。
- ②フンや排尿の後始末ができていない等、ペットの飼い主のマナーが悪く困っているので、啓発など町会で取り組んでいきたい。
- ③コロナ禍が終わり、各地区での行事が盛んになってきたが、人が多く集まりやすい健康・福祉・防災をテーマにした催しの中で、町会加入促進の取り組みを行えば効率的。
- ④役員・班長のなり手が不足しているとともに、町会加入率が下がってきている地域もあるので、町会独自のサービスや利点を考えていく必要がある。
- ⑤学校教育は地域とのつながりが強いので、小学校に依頼して、児童に町会加入の案内を配布し、児童を通じて各家庭に町会加入の案内を届けていきたい。
- ⑥日本語が分からず外国人の市民に対して、日本語ができる子どもがいるときに訪問して説明したり、外国語版の町会ハンドブック等の作成が必要。
- ⑦ポスター・チラシに掲載できる情報は限られているので、必要な情報をQRコードから得られるような仕組みを取り入れるのはどうか。

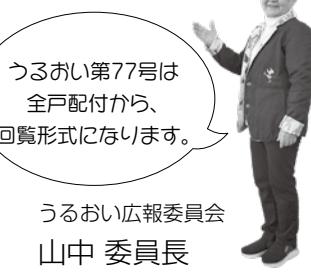
ふりかえり

各地区の課題や取り組み等について参加した幹事全員で共有することで、今後の自治振興委員の役割や、町会活動・運営のあり方について考えるきっかけとなりました。八尾市自治振興委員会では、引き続き、今回のような地域のニーズを把握・整理し、解決に向けて取り組みを進めていきたいと思います。



各地区から様々な意見が出ましたが、それぞれの意見を参考に町会活動を行っていきます。

うるおい広報委員会
田中 副委員長



うるおい第77号は
全戸配付から、
回覧形式になります。

うるおい広報委員会
山中 委員長

回
覧

八尾市自治振興委員会検討会議の議論内容

第1回八尾市自治振興委員会検討会議

令和5年9月28日(木) 午前10時45分から

八尾市役所6階 大会議室で開催

メンバーの紹介

検討会議は議長、副議長 2名、会議員 11名の計14名で構成。正・副議長選出を行った。

検討内容

1 令和5年度の検討内容のスケジュールについて

令和5年9月から令和6年3月まで計7回予定

2 今後の「うるおい」の方針について

今後の発行媒体検討 うるおい広報委員会に依頼

3 市政懇談会のテーマについて

4 他市の調査・研究について

その他の検討事項

- ・吊り下げ広報板、会費使途、準町会等

- ・自治振興委員の手引きの更新

- ・アンケート結果等より町会加入促進策の検討 等

第2回八尾市自治振興委員会検討会議

令和5年10月10日(火) 午後2時45分から

八尾市役所6階 大会議室で開催

1 市政懇談会のテーマについて

検討会議で検討した内容をまとめ、11月の幹事会で決定することになった。

2 他市調査・研究について

八尾市と似た状況の府内市町村をいくつかピックアップし、その中で検討することになった。

3 八尾市詳細地図を活用した未加入世帯の実態調査の実施を検討



第3回八尾市自治振興委員会検討会議

令和5年11月2日(火) 午前10時40分から

八尾市水道局4階大会議室で開催

1 「うるおい」第77号について

第1回「うるおい広報委員会」にて、以下のとおり決定。

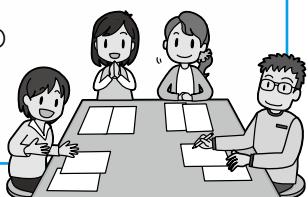
①うるおい通信員に記事依頼

②今後、「うるおい」は町会加入者への会報誌とし、回覧に変更。

③3月の地区委員会にて配布。A3サイズの2つ折り × 2枚。全8ページ。

2 市政懇談会のテーマについて

テーマ「今後の自治振興委員会の役割、町会活動・運営のあり方について」に決定。



第4回八尾市自治振興委員会検討会議

令和5年12月12日(火) 午後2時10分から

八尾市役所本館6階 大会議室で開催

1 戸建住宅やマンションの町会加入促進について

2 八尾市詳細地図を活用した未加入世帯の実態調査については令和6年度の町会未加入世帯の調査(5月1日現在)までに、具体的な調査方法等を検討した上で実施。

調査する場合の検討が必要な項目

- ・集合住宅や空き家の取り扱い

- ・未加入世帯の調査方法

- ・2世帯住宅の調査方法

- ・その他



今後の町会活動について

近年、どこの地域も少子高齢化やライフスタイルの多様化などにより町会加入率が減少しています。

今後の課題として、八尾市自治振興委員会を中心に市政懇談会で出ました各地区における様々な問題や課題、その解決策等を共有し、検討会議でも今後の活動に生かしていきたいと思います。

能登半島地震を目の当たりにし、益々、町会の役割の重要さを痛感しました。

うるおい広報委員会
傍嶋 委員



令和5年度の取り組み紹介

AED研修



AEDや心臓マッサージを実際に手に取つて行なうことができ、とても参考になりました。一度だけの訓練ではなく、何度も繰り返し訓練することが大切であると思いました。

うるおい広報委員会
笠谷 委員



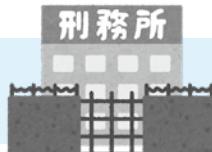
10月14日、幹事会終了後、AED研修会を開催いたしました。地域の防災訓練などで何度もAEDの使い方を勉強しましたが、当日は、各自が小型のAEDを用いて救急車の到着までにできる事を学びました。

心臓マッサージは時間との勝負なので、一人ではなく通行人や、近くにいる人の助けを借りて、それぞれ119番する人、交替で、心臓マッサージをする人と手わけして、自分達にできる事をしましょうと教えていただきました。

ただ、いざとなると中々教えてもらった事がすぐにできるものなのかとの受講者からの質問に対し、その為にも何度も研修して対応できるようにする事が必要だと説明されました。

地域での防災訓練でも、しっかりと各自が勉強していく事が大事だと、あらためて思いました。

八尾市赤十字奉仕団婦人部の活動



うるおい広報委員会
竹本 委員



八尾市赤十字奉仕団婦人部は、日本赤十字社と連携しながら、各地域での奉仕活動や街頭募金活動の他、防火・防災フェアでの炊き出し訓練や、地域住民を対象とした健康管理講演会を行っております。

また、年に一度施設見学会を開催しており、防災施設や福祉施設へ訪問し、様々な知識を実際に見て体験して身につける活動もしております。今年度は、11月30日(木)に「和歌山刑務所」へ訪問しました。

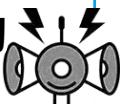
和歌山刑務所は、女性専用施設として衣服・エプロン等を中心とした縫製作業をはじめ、家庭用品の組立・加工等きめ細かい作業をされている施設です。また、受刑者が作成した製品の販売所もありました。

普段は立ち入れない刑務所へ訪問し、社会復帰を目指した受刑者に対しての指導や職業訓練があること、他にも様々な学びがあり良い経験となりました。

うるおい 通信員からの 投稿

コロナ禍明けの町会活動

八尾第一地区 三島 和夫



コロナによる空白を終え、昨年は今年度への過渡期にあたり活動を考えるに困難な時期でした。しかしその中で会員にアンケートを取り要望を知ることができました。町会員が加入している最も大きな理由は災害時に助け合えるから(約半数)。要望の第一位は会員相互の親睦を図りたい(約20%)。

今年度はいよいよ町会費の徴収を行い活動開始。高美第7町会では年間計画として5月ごどもの日プレゼント、10月市民スポーツ祭・公園清掃、11月防災イベント、2月新年会を掲げて活動しています。

市民スポーツ祭は残念ながら諸般の事情で町会単位の催しには成らず個人参加だったので町会の交流とはいきませんでした。公園清掃は町会員だけでなく住民みんなで雑談をしながら行いました。

町会活動の大切さ

亀井地区 奥野 龍治

町会がひとつの大きな祭事として挙げられるのは、夏の納涼大会でしょう。

新型コロナウイルス感染対策により、丸3年間、恒例であった夏の行事である納涼盆踊りと演芸大会を中止していたが、本年8月5日(土)に開催できました。開催にあたり、地区の自治振興委員、福祉委員、子供育成会、民生委員、消防団員、更生保護女性会等のみなさんが各々の役割を担っていただき、午後6時から9時過ぎ頃まで盛大に盛り上がりいました。

地域の発展、そして何よりも大事な人と人との交わりが、これ程楽しいものであることを実感できる行事として、更に各種団体の寄り合いによる

- P4. コロナ禍明けの町会活動
八尾第一地区 三島 和夫
- P4. 町会活動の大切さ
亀井地区 奥野 龍治
- P5. 大正北地区 地区の様子
大正北地区 吉井 正博
- P5. 実行委員会形式で町会活動を!
大正南地区 藤田 典俊

- P6. 刑部小学校区の防災・防犯活動について
刑部小学校区 後藤 映子
- P7. 都塚北町会の設立からこれまで
曙川小学校区 中田 和彦
- P7. 曙川東地区の自主防災活動について
曙川東小学校区 本多 準一

た。11月12日(日)は八尾消防署の方に来て頂き防災意識を高めるというテーマで全住民対象に地震に焦点を当ててイベントを行いました。(写真) 約半数の世帯の参加でした。地震が起きればどうするのか、そのときの注意事項は何か、今の平常時にはどんな準備をすればいいのか等ていねいに説明して頂きました。参加者からの質問にも応えてもらい意義ある時間でした。参加者には帰りに水道局から頂いた備蓄用水をおみやげに持って帰つてもらい、町会員の方には避難用リュックのじゃんけん大会を催しました。最後に消火器の使い方も学びました。

まだ2月の新年会の行事が残っていますが、いい交流会の場にしたいと思っています。



町の重層な結び付きが醸し出せるのではないだろうか!

次に亀井小学校区市民スポーツ祭も4年ぶりに開催することになり、子どもさんからお年寄りまで多数ご参加いただき大成功でした。

午前中のみであったが、本年は例年と違い、地区対抗戦を取り止め、遊び要素を強めることにより、子どもさんを中心として父さん母さんが輪となつて愉しく遊びを体感されたことや、地域の結び付きの大切さを感じていただいたことであろう。

結びとして、この3年間のコロナによるあらゆる行事の中止によって、長年培ってきたノウハウが継承できにくくなり、スムーズな運営が滞つたことを教訓として、今後の町会活動、福祉委員会活動の担い手の継承の大切さを感じたことを申し上げます。

大正北地区 地区の様子

大正北地区 吉井 正博

大正北自治振興委員会は八尾の南にあります。3,772世帯約8,560人が生活しています。その内2,585世帯が31の町会・自治会に加盟されています。

逆に1,200余りの世帯が町会に参加されていないことになります。加入されない理由は様々とは思いますが、それをそれぞれ解決していかなければならぬと思います。

例えば、「役員になりたくない」「平日は仕事があるので無理」「日曜日はプライベートが優先」など、とても難しい課題です。皆で考えていきましょう。

さて、今年の大正北地区では、福祉委員会主催の行事で「ふれあい交流会、ひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動、大正北小学校安全パトロール、給食ボランティアによる味和会」の活動などその他の活動を行いました。

その中でも秋に開催した「市民スポーツ祭」が3年ぶりで時間も午前中の開催にもかかわらず、約550人以上の住民の皆さんに参加していただきました。それぞれの町会、各種団体の皆さんのご協力で無事に終了する事が出来ました。

皆さんの協力で行われた事業としては、大正北地区まちづくり協議会主催、青少年指導員や地区的各種団体の役員による「こどもカーニバル」初めての試みとして「大正北地区合同盆踊り大会」これは従来、木の本地区、西木の本地区のそれぞれの町会、自治会が主催していたもので毎年盆踊りに参



加される住人が減少傾向にあったことから、まちづくり協議会が提案し実施となった行事です。合わせて開催の一部はこどもカーニバル、二部は盆踊り大会が開催されました。課題はありましたが、来年に向けて話し合っていくことが確認されました。

この様に、大正北地区内で各種団体協力し合えば、先に課題となっている「町会・自治会への加入の促進」に繋がっていくのではないでしょうか。



実行委員会形式で町会活動を！

大正南地区 藤田 典俊

大正南地区若林町は、八尾市の最も南西に位置しています。南側は大和川右岸沿いに広がり、北は大阪メトロ八尾南駅になります。

町会は4地域にありますが、私が担当する町会は3丁目と2丁目の一部です。昭和39年に松原市から八尾市に編入され、その後土地開発で大阪メトロ八尾南駅、マンション、印刷工業団地などができて現在に至っています。

町会の定例行事として主なものとしては、2ヶ

月に一度の廃品回収、年2回の地域一斉清掃、秋祭り、クリスマス会、年末夜警、とんど焼き祭りです。

町内の水路敷きにはサツキなどが植えられています。八尾市が年1回植木の剪定と除草をしていますが、地域一斉清掃事業として春と秋に自治会と高齢クラブが一緒に除草と清掃をしています。

コロナの影響で、秋祭りは今年4年ぶりに開催することができました。若林神社は大和川の南側、松原市若林町になるのですが、小さい「だんじり」を子どもと大人が一緒になって町内だけを曳航して楽しんでいます。今年は景品付きで「ワナゲ大会」や「スーパーボールすくい」なども企画して盛況に終わりました。

町会の運営は、どうしても会長と役員を中心となって活動していますが、役員の負担が大きく、これからはイベント単位で実行委員会を立ち上げ活動していきたいと考えています。

少しでも役員の負担が減って町会加入の件数が

増えていくような組織作りをしていきたいと考えております。いきなりは難しいと思いますので、ひとつでも実施できれば良いのですが。

また、新しいイベントも皆さんの要望を受け入れて企画していけたらと思います。



刑部小学校区の防災・防犯活動について

刑部小学校区 後藤 映子

令和5年4月より、刑部小学校区自治振興委員会を初めて活動させていただいております。21名中4名が女性です。その中の1さんと隣の席になり、私が不明点を質問するとご親切に自宅まで資料を届けて下さり、心強い存在で最初の不安も消え、どうにか活動を続けていけそうです。

毎月1回(8月は休会)の定例会は午後7時30分~9時まで役員の方々のスムーズな進行により執り行われます。

7月は小学生の下校時の見守りに参加しました。8月の夜間パトロールは、集合早々汗が急に体中吹き出て疲労感に襲われリタイアし、曙川中学校のPTAの役員3名様にフォローして頂きました。9月17日のふれあい祭りは、模擬店や体育館での各種イベントはFMちゃおで生放送されました。

10月の市民スポーツ祭は、幼児から高齢者まで参加者の笑顔歓声に包まれ和気あいあいとした楽しいスポーツ祭となり、長年尽力され継続されて来られた事に敬意を表します。尚、両イベントの開催は4年ぶりです。

平成25年1月18日に刑部小学校区まちづくり協議会が発足し「みんなで育てるまちづくり」をス



ローガンに防災の体制づくり活動も行っております。

刑部北町会庄司様のご尽力により、安否確認旗(黄色のビニール製で黒字で無事と書かれた旗)を町会員様に1枚づつ配布しました。

玄関先、門扉、駐車場前などに安否確認旗を掲出して頂くことで、緊急の助けを必要としないことを伝えることができる取り組みです。

令和5年11月12日にプリズムホールで八尾市から児童虐待ゼロを目指す運動実行委員会主催の映画「ひとつず」上映会＆講演会を一人で見に出かけました。

上原よう子氏の講演は、体験談を勇気を持って話され活動する姿に心より感動しました。映画は、世界で絶賛され、賞を数多く受賞されており、素晴らしく涙がこみ上げてきました。舞台挨拶や歌ライブも心に沁みました。DVDを購入し、帰路に着きました。

社会と関わり、人と接することで視野を広げていきたいと思います。

都塚北町会の設立からこれまで

曙川小学校区 中田 和彦

私が現在のところに引越ししてきたのは、2018年11月のことです。当時はまだ区画整理事業による戸建て住宅の建設途上の状態であり、近所では基礎から棟上げをしているお家があり、出来上がったばかりのお家に引っ越し会社のトラックが止まり、家具が運び込まれていく日々が続いていました。

当時は住所表記も「八尾市大字刑部曙川南土地区画整理事業地内〇一〇」というような長いものでした。いろんな書類への記入が大変で困りました。それから1年が過ぎ、2020年2月頃から有志数名による町会設立準備会が発足されました。最初は何から始めていいのか、何を決めなければいけないのかわからず、建築業者であるハウスメーカーの方の協力もあり、町会発足に向けての準備をスタートしました。

まず町会規約の整理と設立時の役員選出について何度も会議を実施し決定してきました。

その後、年間の事業計画、収支予算の検討、町会内の班割り、ハウスメーカーにより集会所を準備頂いていましたので、その集会所の利用規約などを整理し同年9月27日に町会発足の総会を開催しました。

当日は集会所に入りきれないほどの町会内在住の大多数の方に出席頂き、議案全てを承認いただき町会設立の準備が整いました。それから八尾市への申請を済ませ町会が設立されました。

このように設立された私達の「都塚北町会」は、小さな子どもをお持ちの世帯が非常に多い町会です。そこで2022年に町会下部組織として「子ども部」を設立しました。

イベントは都塚北公園で実施する夏祭り、集会所や町会内で実施するハロウィン、そしてクリスマス会などを中心に子どもたちと楽しめるものを子ども部役員の方が考え実施してくれています。加えて町会活動の広報は、グループウェアの「サイボウズ」を用いたホームページとスマートフォンで回覧板や掲示板の内容を確認できる「デジタル回覧板」というスマホアプリを活用し情報提供を始めています。

このように設立して3年目の町会ですが、年々変化、いや進化している町会です。

今後ともよろしくお願いいたします。



都塚北集会所

曙川東地区の自主防災活動について

曙川東小学校区 本多 準一

当地区は安全安心のまちづくりを主題に昨年より本格的に自主防災活動に取り組んでいます。昨年度は八尾市より派遣されたコーディネーターと町会防災委員とがワークショップを通して地区の防災計画の作成に取り組みました。計画の中で、一時避難所の設定避難場所への経路、安否確認、被害状況、情報収集、各町会の連携など、いざという時の備えについて、訓練の実践、防災、減災の大切さを体験啓発を行っています。

自治振興委員会自主防災組織では、委員長を中心



に自主防災の隊長・地区を4ブロックに分けブロック長に防災士を配置、町会防災組織との連携で計画を進め成果の一つとして防災マップの作成があります。昨年はマップの検証として避難訓練を行いました。

今年度は春に土嚢作り体験、炊き出し訓練。秋には避難訓練・消防署の協力を頂き、煙中・担架作成・通報・初期消火・バケツリレー・AED・心肺蘇生・エンジンポンプでの放水訓練見学が400人の中で行われました。

各町会長・班長、防災委員、まちづくり協議会協力の下で一丸となって活動促進しています。

地区防災マニュアル作成、防災マップについてのマニュアル作りです。難題で作成と進み、今後の課題は避難所の運営ではありますが克服していかねばならないと思っています。





八尾市民憲章

わたくしたち八尾市民は

- 若い力をそだてましょう
- あたたかい心でまじわりましょう
- みどりのまちをつくりましょう
- 文化財をたいせつにしましょう
- 働くよろこびに生きましょう

やお安全安心憲章

- 市民一人ひとりが防災・防犯意識を高めましょう。
- ひとを思いやるやさしさを持ち、
共に助け合う地域をつくりましょう。
- 豊かな地域活動をはぐくみ、災害や
犯罪に強いまちづくりを進めましょう。
- 未来を担う子どもたちを犯罪から守りましょう。
- 社会のルールを守り、地域の和を尊重しましょう。

赤十字活動資金ご協力のお礼とご報告

令和5年度に町会などを通じてご協力いただきました
赤十字活動資金は、下記のとおりとなりました。

赤十字活動資金

合計 6,343,506円(令和6年2月1日現在)
寄せられた赤十字活動資金は、日本赤十字社が行う地域
福祉や災害救護、防災活動等に役立てられます。
今後も、日赤活動へのご理解とご協力を願っています。

これまでご協力いただいた支援金等のご報告

(令和6年2月1日現在)

- ウクライナ人道危機救援金 286,221円
- 令和6年能登半島地震災害支援金 3,174,347円

ご協力をいただいた支援金は日本赤十字社を通じて、
被害状況に応じて按分され、各被災県に設置された義
援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届
けいたします。

編集委員の紹介

【編集委員】

- 委員長：山中 あや子（用和地区）
- 副委員長：田中 秀宙（高安西地区）・梅原 和昭（山本地区）
- 本田 静夫（八尾地区） 笠谷 知枝子（用和地区） 加藤 誠司（龍華地区）
- 傍嶋 良享（久宝寺地区） 吉井 正博（大正北地区） 早川 雪信（西郡地区）
- 馬谷 勝美（南高安地区） 松倉 昌明（南高安地区） 竹本 弘子（赤十字奉仕団婦人部）

八尾市は、八尾市自治振興委員会と協働で、持続可能な町会組織としていくための検討を進めています。



町会では、より住みよいまちとなるよう、自分たちで
さまざまな活動に取り組んでいます。

八尾市では、八尾市自治振興委員会と共に、町会を
持続可能な組織としていくための検討を進めており、
昨年秋に町会長・自治振興委員や市民を対象とした
アンケートを実施しました。

今後も引き続き、八尾市は、町会のまちづくり活動を
応援しています。

●アンケート結果からの抜粋

ご協力いただきましたアンケート結果は、



【町会活動は必要】

市民アンケートでは6割の方が、暮らしやすいまちの
維持や実現に向けて、町会は必要であると答えています。
また、町会長・自治振興委員、市民、双方のアンケートで、活動が負担と
いう回答が多く、活動の見直し・精査や活動の分担を工夫するなど、
町会活動の負担軽減に関するニーズが高くなっています。

◎八尾市では、市から自治振興委員会・町会への様々な依頼による
負担を軽減し、各地域における自治活動をサポートします。

【町会加入促進について】

町会長・自治振興委員アンケートでは、新しく転入した世帯へは、町会
長等が活動の説明や勧誘等を行われていますが、未加入世帯や集合
住宅へは、加入促進の取り組みはほとんど実施されて
いないという結果となっています。

◎八尾市では、町会運営や加入促進の参考となるよう、
町会活動に役立つ情報や皆さま方からお寄せいただ
いた事例を掲載したガイドラインを作成しました。



ガイドラインは
こちらから